

天災による被害が今年の夏も・・・
被害に遭われた方々へ心よりお見舞い申し上げます



9月13日は、十五夜(中秋の名月)
すすきも穂を出して 準備しています



子どもの食を見守る支援者に

NPO 法人ワーカーズ・コレクティブちろりん村
管理栄養士 吉田 朋子

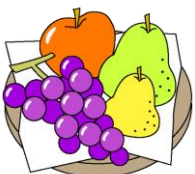
保育サービス講習会の「子どもの栄養と食生活」の講座を担当しています。

子どもの食事は、生活環境の変化に伴い徐々に変わってきています。例えば離乳食の始め方やアレルギーの食材などをとっても支援者の皆さんの子育て時代とは異なります。

講座では、イマドキの子どもたちの食の課題や食事バランスのととり方、食物アレルギーの理解、発達に合った食事の形態、お子さんの食事を見守るときの声掛けや、食に関する保護者の質問にどのように答えるかなど具体的な内容を皆さんでワークをしながら学び、保育サービスの活動に役立てていただくようにしています。

小規模保育室ピッコロルームには、運営委員会で年に数回訪問しますが、0～2歳の子どもたちに最適な家庭的なあたたかな雰囲気と、おいしい給食が提供されていて、いつも参考にさせていただいています。

子どもたちの食の課題には、孤食や睡眠時間が短いなどの生活リズムの乱れ、食体験の減少などがありますが、人と一緒に食べたり、料理をすることは食への興味が高まり、将来につながる大きな意味があります。子どもたちは見たり、触ったり食べたりという五感を使った食体験を通して嗜好を獲得します。だしや乾物などの和食の良さを伝えたり、野菜を育てたり、料理の体験をしたりして、「食べることを楽しい」と思い、おいしいものを自分で作ったり、作ってくれる人への感謝の気持ちをもつなど。様々な力を豊かに培ってほしいと思います。



吉田朋子先生には、4～5年前から各事業(ファミリー・サポートきよせ、女子医大・東京医大ファミリーサポート室、DDユニットファミリーサポート)の「子どもの栄養」の講師、また、小規模保育室ピッコロルームの運営委員として、適切なアドバイスをいただいております。

保育サービス講習会の「子どもの栄養」は、先生の思いが詰まった楽しい講義で3時間があっという間です。



すべての子どもに幸せな人生のスタートを!地域の中で人と人のあたたかいつながり!

「ホームスタート・ピッコロ 10 周年報告会&記念コンサート」を終えて



8/31(土) 10:30~12:00

清瀬市児童センターころぼっくるホールにて

ホームスタートは、2007 年、福祉医療機構の複数年助成を得て、清瀬市で試行が始まり、2009 年にその効果を認めていただき、日本で初めて行政の事業となりました。

今年で 10 年を迎えるにあたり、より多くの方にホームスタートを知っていただく機会としたいと思い、報告会を兼ねたコンサートを開催いたしました。

5 人のハーモニーが美しいベイビー・ブーさんをお呼びして、アカペラで「赤とんぼ」「どんぐりころころ」「ゆりかごの唄」「高校三年生」「三百六十五歩のマーチ」「糸」「恋の季節」など 11 曲を鑑賞しました。

12 月 24 日に有楽町のみどりホールで行う単独コンサートの歌のメドレーや、担当したCMソングを歌ってくださったり、トークも楽しくあつという間の 1 時間でした。

心地いい歌声に赤ちゃんが眠ってしまうほど、素敵なコンサートでした。



素敵な時間をありがとう

M/Sさん

清瀬には初めて伺いましたが、のどかで安らぎを感じました。タクシーで児童館に到着したとたん、目の前には広々とした芝生、建物内も楽しそうな光景が広がっていました。

そして、ベイビー・ブーさんのコンサートでは、本当に素敵な場所で素敵な歌声が聴けて、母共々どれほど感動したことでしょうか。涙を流しながら聴いた曲も数曲...

感動と言えば、市長さんや教育長さんのお人柄が滲み出ている素敵なお言葉...しっかりメモさせていただき心に留めました。そしてピッコロさんの活動報告がとても心に響きました。

私が出産・子育ての頃(特に2人目出産直後)は、両親は仕事が忙しく、我が家の引っ越しも重なり、とても心細い日々を過ごしておりました。子育てに少し余裕が出来た頃は、近所の友人たちのお子さんをよく預かっておりました。そしてこれからは孫育てを楽しみにしているところですが、もう少し先のようにです

私が関わりたかった・そしてこれからも関わりたいと思うことをされていていらっしゃる皆様には頭が下がります。素晴らしいことです。どうかこれからも清瀬の子育て支援のお仕事をお元気で継続なさってくださいね。私も機会があれば地域の子育てボランティアをさせていただきたいです。

本日は、子育てで大変な親御さんたちは、ベイビー・ブーさんの歌声を聴けて思い出に残る素敵な時間だったのではないのでしょうか。私たちにもこのような機会を与えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。

(市外から参加された方の感想です)

研修会の案内*****

「これもDV(配偶者暴力)?! 『不機嫌』という名の暴力」

～家庭内「モラル・ハラスメント」を知り、本当の自分を取り戻す～

9月28日(土) 13:30~16:00

東京ウイメンズプラザ地下1階ホール(渋谷駅徒歩12分)

講演1 「見えない暴力」による支配～精神的暴力の正体と脅威

講師:高山直子さん(カウンセラー)

講演2 「心を癒すための一歩～できることからやってみる!セルフケア」

講師:浅井咲子さん(アート・オブ・セラピー代表)



子どもと遊ぶのが大好き!

支援者 H/K さん



私が初めてピッコロさんに自ら足を運んだのは、ホームビジターの紹介(発表?)の場でした。広報で知り、とても素敵な取り組みだと感じたからです。

ちょうど「これからは、地域のお子さんに関わることをしたい」と思った矢先でした(50歳半ば)。それがきっかけで、ファミサポの講習会を受け、初めて関わったお子さんが0歳児。ずっと続いて、今年1年生になりました。楽しい時間を沢山もらいました!その間にも思いもしない環境にいらっしやるお母さんたちとの出会い。辛さ、大変さを感じながら「今日の関わり方で良かったのかな～」と反省することも多いです。

それでも「子どもと遊ぶのが大好き!」この一点で、日々楽しく過ごしています。いい機会をいただいていると感謝しています。街中で大きくなったお子さんや笑顔のお母さんに出会うとやっぱり嬉しいですね。

これからも、細く長く関わっていけるよう、私自身、心身共に元気で、笑顔でいたいです。

成長したお子さんとママ
とビジターさん



ホームスタートにあって…そして9年後の今

利用者 大塚由香里さん

私がホームスタートを利用したのは、今から約9年前で娘が2歳の時でした。樹莉は22週4日で生まれ、体重が470gという超未熟児で体も弱く病気がちでした。元気なときにたまに『つどいの広場』へ行くことができました。小さく産まれたため、成長や発達が遅れていて、『つどいの広場』へ行くと同じ位の年齢の子ども達が出来ることが樹莉には全く出来ず、比べてはいけなるとわかっていても心配で気持ちが落ち込むことが多く、家に引きこもりがちになっていました。

そんなときにピッコロさんに、ホームビジターのことを紹介されました。家に来てくれて、子どもと遊んでくれたり、子育ての話聞いてくれるということでしたが、初めはどんな人が来るのかな?何かいけないところを指摘されたりするのかな?等、正直、不安がありました。我が家に来てくださった野島さんは、とても穏やかで明るく、優しい気持ちで私たち親子に接してくださったので、樹莉もすぐになついて、野島さんと遊べる日を楽しみに待ち望むようになりました。当時は、ミルクの他にぶどうしか食べなかつたので、一緒に買いに行ってもらったり、売っていない時期になると『あそこのスーパーでぶどうが売っていましたよ』と連絡をくれたり、樹莉が食べられそうな『きなこ』を使ったお菓子を一緒に作ったりしていただきました。野島さんには、お姉さんのような、友達のようなとても親しみを感じました。

そして、樹莉の離乳食が進まず、どうにかして食べさせないと、、、と悩んでいたときには「買い物も片付けも大変だから、お魚は焼き魚を買っちゃえば?」とか「樹莉ちゃんは、まだ小さいからきつとお腹の中ができていないかもしれないから無理に食べさせなくても、そのうち食べる時が来るから大丈夫よ」と言ってくれました。いつも親身に話を聴いてくださり、決して否定せずにこちらの気持ちが楽になるようなアドバイスをしてくださったこと、どれだけ私の心が救われたことか、、、。今でも当時のことを思い出すと感謝の気持ちでいっぱいになります。

このピッコロのホームスタートという素晴らしい活動が、これから長く続くことを願い、陰ながら応援していきたいと思っています。

10周年、本当におめでとうございます。

最後に…お陰さまで樹莉は小学6年生になり、毎日元気に学校へ通い、そして、給食は完食しています!

